


退職者 NO.97

こだま会報



ゆがんだ社会を正す 「さようなら原発」17万の声



「コマクサ」の花。花の女王と呼ばれています。どこの高山でも咲くわけではなく、八ヶ岳の硫黄岳附近では7月中旬に咲きます。(栗飯原 茂)

目次

- ・総会報告……………①～⑤
第28回総会報告／加瀬代表挨拶／来賓挨拶／経過・決算・監査報告／各種方針／総会発言／物故者名
- ・総会に参加して(小山直次さん)……………⑤
- ・せいかつ短信…⑥～⑫
- ・お勧めの一冊……………⑫
- ・行動しよう!「脱原発」……………⑬
- ・浜岡原子力館見学／がんばれ神奈川フィル分会……………⑭
- ・趣味の会「歴史教室」(散策)／手作り文化祭／予告……………⑮
- ・こだま俳壇／薬膳料理／絵手紙……………⑯

神奈川県職労連退職者こだま会第28回定期総会(6/23)

仲間と手を結びいきいき人生を

梅雨の晴間の6月23日、神奈川県職労連退職者こだま会は、「なかと手を結びいきいき人生を」と、神奈川県民センターで第28回定期総会を開き、50人余が参加しました。

総会は午前10時30分、幹事の平岡孝弥さんの司会で開会。会員総数1344人、開会時出席者45人、委任状536人で総会の成立を確認しました。

続いて、この1年間に亡くなられた27人の会員の方々に黙とうをささげました。議長に仲戸川実さんを選出し、議事に入りました。

開会にあたって、加瀬文隆代表幹事は、「国会では、消費税率引き上げや大飯原発の再稼働など、民意がながしろにされている」「公務員と国民、若者と高齢者が分断されているが、いまの若者が高齢期を迎えたとき、安心できる社会保障をつくるのが重要。そのため現役世代ともしっかり連携



梅雨の晴間の6月23日、神奈川県職労連退職者こだま会は、「なかと手を結びいきいき人生を」と呼びかけました(2面参照)。

来賓には、神奈川県職労連副委員長の片倉義則さんや横浜市従退職者会長の森田謙一さん、中央労金横浜支店次長の白澤麻奈さん、神奈川ユニオンアシランス代表取締役の畑喜代司さんが列席され、連帯のあいさつをいただきました。また、全労済神奈川県本部からはメッセーじが寄せられました。

続いて、1号議案「2011年度経過報告及び同決算報告」(鳥居伸太郎事務局長)、同監査報告(辻村博監査)、2号議案「2012年度活動方針案」(植木眞理子副代表幹事)、3号議案「長寿祝い制度の新設と弔慰金制度廃止について案」(鳥海敏雄事務局次長)、4号議案「2012年度予算案」(松尾佐知子幹事)が提案され、討議の上、それぞれ大きな拍手で承認しました。

(2面に続く)

※会員の皆様へお願い…住所を変更された時は事務局までご一報を。

加瀬代表幹事の開会挨拶 (要旨)



代表幹事の
加瀬文隆さん

消費税増税のため国会延長が図られ、大飯原発の再稼働が決定されるなど、民意がないがしろにされる政治が強行されています。しかし、国民の過半数以上が「消費税増税ノー」で、「原発の再稼働反対」は国民の多数

です。しかし、野田政権は

現役世代と連携して運動を

この1年間、趣味の会やイベントなどを通じて

この1年間、趣味の会やイベントなどを通じて

(1面より続く)
参加者からは、「現役職員の福利厚生が後退している。OBも自治会館を使用できなくなった」「出先機関の全廃は大問題。県に申し入れるべきだ」「那須に山小屋を建て、畑仕事もしていたが、原発事故の放射能で、それもままならなくなった」「TPP反対運動を強めよう」などの意見が続きました。それぞれの議案は、議論のうえ大きな拍手で承認されました。
総会後は会場近くの『Foodi unBar 一磋』で懇親会を開催。自治会や地域九条の会、地域の社会



保障運動などで頑張っている人、ホテルが飛ぶ川を復活させた経験、ホームページを開設し世界を広げている人、楽しい俳句サークルへのお誘いなどの報告があり、交流を深めました。

来賓あいさつ(要旨)



県民を守る県政を
とりもどしたい
神奈川県職労連副委員長
片倉義則さん

職員やOBの福利厚生施設のひとつである「大平荘」を、県は来年3月末に廃止する。「神奈川県自治会館」の利用もできません。福利厚生は大きな労働条件のひとつ。前進めざして頑張りたい。
県政をめぐることは、県の外部調査



子どもたちの想いに
応える活動を
横浜市民従退職者会会長
森田謙一さん

昨年、大地震と原発事故という大きな経験をしました。にもかかわらず「大飯原発」を再稼働する。政府は「国民生活のため」というが、それは脅しです。
横浜市民従退職者会は横浜市民従労組と一緒に毎月、核廃絶署名などに取り組んでいます。ある集会で10歳の子どもが、「お金が大事なのか、いのちが大事なのか。僕は将来、観光や自然に優しいエネルギーの仕事をしたい」と言っていた。
この子どもたちの想いに恥じることもないよう、私たちもできること

を、楽しく元気よく進めましょう。

ほかに、中央労金横浜支店次長の白澤麻奈美さん、神奈川ユニオンアシランス代表取締役の畑喜代司さんが列席され、連帯のあいさつをいただきました。また、全労済神奈川県本部からはメッセージが寄せられました。

各議案の提案

●2011年度経過報告(鳥居事務局長) 東日本大震災の災害復旧は遅々として進んでいません。福島原発事故による放射能問題は、解決の展望も見えず、課題が山積です。

野田政権は、大企業には法人税率の引き下げをはかり、国民には「社会保障と税の一体改革」の名で消費税増税と社会保障の切捨て、後期高齢者医療制度の存続、普天間基地の辺野古移設の強行、TPP(環太平洋経済連携協定)参加など、国民の願いに反する政治を強行しています。

こだま会では、「趣味の会」をはじめ、レク活動等を通じて会員の仲間づくりや交流が進みました。また、『会報』を定期発行し、ホームページをリニューアルしました。



鳥居伸太郎さん (事務局長)



植木眞理子さん (副代表幹事)



鳥海敏雄さん (事務局次長)



松尾佐知子さん (幹事)



辻村 博さん (会計監査)



生活やくらし、平和を守るとりくみでは、高齢期運動や「九条の会」のとりくみへの参加や、「社会保障の充実を求める署名」「安全・安心の医療・介護の実現署名」を進め、多くの会員の協力を得ることができました。 会員数は横ばいです。引き続き神奈川県職労連と連携しながら、働きかけを強めていく必要があります。

●2011年度決算報告(鳥居事務局長) 収入の部では、年会費会員が84人(うち1人が途中から終身会員へ)、終身会員は33人加入しました。加入の伸び率が減少傾向にあります。支出の部では、「通信費」に計上していた『会報』の発送費を「広報費」に計上したこ

となどが主な特徴です。 ●2010年度会計監査報告(辻村監査) 帳簿等はしっかり管理され、適正に執行されていきました。経費削減の努力も認められます。 ●2012年度活動方針(植木副代表幹事) 民主党政権は、大震災と東電福島原発事故への対応に遅れるばかりか、消費税増税と年金給付削減・支給開始年齢引き上げなどを含む社会保障一体改悪を押し進めています。 県の2012年度予算は、地震防災対策予算の新規事業はわずか12億5千万円と内実を伴っていません。 また、新たに民間園保育所運営費補助の削減など障害者や子育てに冷たい予算となっています。 後期高齢者医療制度の廃止や高齢者の医療費無料化をめざす運動を粘り強く進めましょう。「県職員九条の会」等と連携し、憲法9条擁護・平和をめざす運動を進めます。消費税率の引き上げには断固反対します。 会員の趣味を生かした活動、仲間づくりや交流の場を多く設け、「健康講座」など、会員の経験と知恵を生かしたとりくみを進めます。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます (順不同)

阿部 英夫 様 73歳	山口 勇 様 78歳	石渡 俊夫 様 90歳	小野田ふで子 様 87歳
大塚 喜義 様 80歳	渡辺 七郎 様 79歳	大谷 正利 様 88歳	清野 由次 様 77歳
渡辺 武久 様 71歳	高橋 芳夫 様 82歳	柴崎 住江 様 79歳	田中 光 様 82歳
小川 昭義 様 83歳	間宮 英男 様 81歳	阿久津祐幸 様 72歳	矢内みち子 様 82歳
相澤 徹 様 71歳	有田 秀夫 様 68歳	大貫 浩 様 80歳	田中 實 様 75歳
山口 武男 様 80歳	岩田 近 様 83歳	白石 為康 様 86歳	杉崎 明美 様 65歳
鈴木 孝 様 78歳	梅津 貞子 様 85歳	松村 邦 様 79歳	

昨年の総会から2012年6月までに連絡のあった方で、それ以前に亡くなられた方も含みます。

●長寿祝い制度の新設と弔慰金制度の廃止について(鳥海事務局次長)

「本人が亡くなつてからの弔慰金制度より、生存中の長寿祝い制度の方が良いのでは」等の意見をふまへ、ここ数年の総会や幹事会の議論を経て幹事会案を作成し、会員アンケートを実施した結果、幹事会案が高率で支持されました。

対象年齢を77歳とし、3千円相当の記念品をお贈りするもので、年会費会員(10年以上)も対象となります。施行日は2013年4月1日。なお、財政の関係から経過措置を設けました。

これに伴い、これまでの弔慰金制度は2013年3月31日をもって廃止とします。

●2012年度予算(松尾幹事)

前年度の実績をベースに組みました。収入では、積立金繰入金については、前年度繰越金が約135万円あることから、今年度は繰入金なしで組みました。

支出についても決算実績をベースにしました。行動費については、自治労連大会が四国で開催されるため増額し、予備費は県職労連規定(37%)を準用し約5%としました。また項目の「広報費」を「会報費」に改めました。

参加者の発言・意見



鈴木三郎さん

福利厚生は大事にしたい
神奈川県自治会館はそのまま使えたのに、どう

して今年からOBに使わせないのか。県に問合せたが、「3月31日に廃止した。仕事でなければ使えない、これは知事の方針だ」と言われた。新庁舎12階の大食堂はカフェテリアシールと東京の業者になつていて、分庁舎地下食堂は休業。自治会館も30ある会議室が3つしか使っていない。それでもOBに使わせない。かつて、本庁の食堂も運動で福利厚生施設として勝ち取ってきたもの。福利厚生はみんなで守っていく必要がある。



佐伯義郎さん

県出先機関等の廃止や補助金見直しについて
「神奈川県臨調」

が、県の出先機関等の全面廃止を打ち出した。6月21日に神奈川県職労連等の人たちと一緒に、県庁前で抗議行動に参加した。『神奈川県新聞』に、かながわ県民センターの施設改修の入札が中止になったことが載っていた。議員も議会軽視と問題にしている。

補助金の全面見直しについても、関係者から悲鳴が上がっている。施設の見直しというが、予算を付けたばかりのものも見直すという。常識では考えられない。県政の実態を県民に知らせ、「県民センターをなくさないで」など、署名行動なども進めたい。



雨宮和雄さん

福島原発事故の影響をもちに受けて
栃木の那須に山小屋を建て、

のんびり過ごしたいと思っていたが、昨年の「3・11」と東電福島原発事故の影響をもちに受けた。原発から100キロ離れていても、0.5マイクロベルトある。雨どいは0.6、家の中は0.2マイクロベルトある。春の山菜、シイタケの自家栽培がだめになった。固定資産税を払っているが、住民でないからと当初は放射線測定器も貸してもらえなかった。日常生活に不安を抱えている状況を知ってほしい。



並木まり子さん

知事の「鶴の一声」に現場は：「歴史教室」で、鎌倉散策の企画があればぜひ

ひ参加したい。県は国に先駆けてポリオワクチン

を昨年12月に購入した。県保健所で実施するとしているが、医師・看護師が足りない。

9月から国が実施することになった。結局50万本から100万本の損失になる。知事の鶴の一言で現場はひどいことになっている。



小川政則さん

PPP反対のた
たかひに合流を
活動方針にあ
るPPP反対の
たかひの一環

として、大平荘で9月9日に、神奈川県農業問題研究会が夏季学習会を計画している。こだま会として参加いただければありがたい。12月8日には神奈川県九条の会が座間で大規模の集会を計画し、PPPの分科会もある。ぜひご参加を。

発言・質問への回答

●全体的に

5人の方からの、熱のこもった発言に敬意を表したい。ご一緒に運動を前進させていきたい。

●「神奈川県臨調」と福利厚生等について

県庁の状況等を幹事会で議論をし、何をどうするのか、宣伝も含めてとりくんでいきたい。福利厚生問題では、OBもものを言う必要があると思う。会として要求を持ち、声を上げていきたい。



総会後の懇親会では一人ひとりが近況報告。写真は「道保川を愛する会」の活動を報告する小山直次さん。

退職後は、自分の趣味などに生きるのではなく、少しでも地域住民の役に立てればと思ひ、私の住んでいる地域（相模原市下溝の大下自治会）の自治会長を10年前に2年間務めました。180世帯ほどの小さな自治会

自治会の役員として

退職後は、自分の趣味などに生きるのではなく、少しでも地域住民の役に立てればと思ひ、私の住んでいる地域（相模原市下溝の大下自治会）の自治会長を10年前に2年間務めました。180世帯ほどの小さな自治会

この地域のなかを流れる相模川水系の「道保川」という、31カ所からの湧水で構成される全長3・7kmの短い川があります。昔は地域住民の生活用水として野菜を洗ったり、洗濯したり、またホテルが飛び、魚を捕ったりする、子どもたちの遊ぶ川



「清流をとりもどそう」と草刈りや清掃活動などをする「会」。地元環境教育の一環にもなった。

この地域のなかには、優秀な方々が大勢いられると思ひます。昔の経験や知識を生かして、地域住民の生活向上のために、一人ひとりが県民と団結して頑張ったら、少しは県政も変わるのではないかと思ひます。私も地域の県民として頑張ります。

（小山直次）

地域の県民として

「もう一度この道保川を昔の清流にして、子どもや孫たちの遊ぶ場所として残したい」という住民の願いが市当局を動かして、河川改修工事が始まりました。私たちは「自然環境を大切に守り、子どもや孫たちの遊ぶ場所として残そう」と、地元の有志たちと「道保川を愛する会」をつくりました。いまは、会長をしています。

こだま会定期総会に参加して

経験や知識を生かし

「道保川を愛する会」で活動中

久しぶりに、こだま会の総会に出席しました。私は、県を退職して15年。今年の2月から後期高齢者になりました。総会に出席された皆さんは、現役時

代と変わらず元気に頑張っておられる人や、それなりに加齢された人など、懐かしく思いました。私も職場を離れ（今でも時々手伝いに行っています）、地域での生活が主となり、県政の動きなどはよくわかりません。総会では、県職員の福利厚生施設の廃止や県民サービスの切り捨てなどの発言を聞き、現役の頃を思い出しました。組合員の労働条件改善のために、それなりの活動をしてきたことなど…。

ですが、その実績が評価されたのかわかりませんが、その後、いろいろな役員に推薦されたりして、いまでは自治会の長老株です。

「もう一度この道保川を昔の清流にして、子どもや孫たちの遊ぶ場所として残したい」という住民の願いが市当局を動かして、河川改修工事が始まりました。私たちは「自然環境を大切に守り、子どもや孫たちの遊ぶ場所として残そう」と、地元の有志たちと「道保川を愛する会」をつくりました。いまは、会長をしています。

●歴史教室の「鎌倉散策」について
歴史教室（講座と散策）は、「歩いて知って仲間づくり」をモットーにしている。今年は「鎌倉散策」の企画はないが、みなさんとキャッチ

●「脱原発」運動について
「原発はとんでもない」という声が各地で上がっている。会として、

●TPP反対運動などについて
TPP反対運動への「会」としての参加は、事務局・幹事会での議論を経て進めたい。また、方針に沿う

ものは、幹事会待ちでなく、どんどん進めていただきたい。事務局は毎週火曜日10時から16時に開いているので、事前に相談いただければありがたい。

定期総会への出欠はがきに寄せられた「短信」をお届けします。掲載者は143人。「こだま会」への要望をはじめ、元気でお勤めの方やボランティアに励む方、ゆったりと生活を楽しむ方など、本当に喜ばしい限りです。地域での高齢期の運動や「9条の会」等での活躍の方、闘病中の方も見られます。紙面の都合で「幹事の皆様、ご苦労様」「総会の成功を」などの趣旨は、割愛させて頂きました。また文意を損ねない範囲で、一部省略させて頂きました。

(順不同・敬称略)



辻本 操(東京都世田谷区) 最近、膝が悪くなって杖を使い、ドッコイショ、ドッコイショと歩いていきます。往年のイイ男も台無し? です。家城レイ子(小田原) 視力が弱くなって、外出が不自由です。吉井 進(東京都渋谷区) 80歳になつていろいろな役を降りて、次の段階へと思つていたところ、歳相応の身体機能が急に下がつたようで、いまその回復に努めています。「健康が一番」と頑張つてきました。天命まで努めたいと思つています。伊藤 治(南足柄) 毎日、何はなくとも元気に、図書館や〇〇センターに通い、「歩けるうちが花」と、トツタカターと生活しています。今村幸美(横須賀) 体調が悪く、寝たり起きたりの生活をしています。岩澤幸雄(伊勢原) 食道ガンの手術から10年以上が過ぎました。心臓病と腰の病気で苦勞しています。年金者組合伊勢原支部などの活動は行つていますが、市外の遠い所はすべて他の役員にお願いしている状況です。櫻井哲雄(平塚) 放射能を過剰意識せずに、自然を楽しんでいます。稲澤 隆(横須賀) ただいま日本全国を巡礼中です。寺院の数の多いこと。この日本を大切にしたいですね。次世代の人々も、平和で人権

が尊重されることを願つて。大角淑枝(藤沢) 趣味の「お茶」や「薬膳料理」を楽しんでいます。豊田幸子(大井) 私は元気で、山行やら旅を楽しんでいます。瀬戸嘉祐(山北) 小康を得ています。二ノ宮健志(横須賀) 5月で70歳になりましたが、まだ仕事をさせていたただいております。おかげでボランティア活動にも参加して、毎日頑張つています。日比野 貞美(川崎) 歳相応に元気で。庭先に夏野菜を植え、秋にはゆり、芍薬など球根植物を植えようと準備しています。「増税と福祉切捨て」「橋下維新の会」の動向は厳しく注視しています。革新運動の要である労働運動は、いまだうなつていのか。職場闘争は進んでいるのか、情報の得にくい老人として、常に気をもんでいます。伊藤美代子(横浜) 「長寿祝い制度」賛成。祝い金額3000円相当を商品券とし、本人が、好きな品物と交換できるようにすることを提案



総会後の懇親会で交流

します。戸田晴美(川崎) 相変わらず要介護4の母の介護で、緊張と厳しい毎日。今年も体調を崩しましたが、良いクリニックの内科に出会え、神経痛から解放されつつあります。そんななかで、金環日蝕を母と観ることができました。一日も早く、教会や友人との旅行に出かけたいと思いますが、なかなかできません。日本の社会福祉の貧しさと、税金の使い方を考えさせられる毎日です。鎌田利治(相模原) 自民党主導の「憲法審査会」が動きだしています。憲法が改悪されないためにも「県職員九条の会」の活動を願つてやみません。小生、地元の「九条の会」で活動したいと願っています。山田経行(横須賀) 60の手習いで、囲碁を始めました。谷中浩志(横須賀) 4年間の専門員を終了し、現在同じ職場で非常勤職員として働いています。まるまる仕事を任されているのは良いのですが、いづれ必要となる後任者がおらず心配です。山口順久(横浜) メーデーで鈴木三郎さんにお会いできました。県職労連の旗の周りは、存知あげない方ばかりでした。稲垣和成(平塚) それなりに元気です。早朝は『NHKラジオ深夜

便」を楽しんでいます。

佐藤 肇(厚木) 私は昭和3年生まれ、84歳です。趣味はゴルフ、ターゲットボードゴルフ、カラオケ、旅行です。健康のため、ウォーキングを一日9千歩しています。

桂 稔郎(横浜) 大和市の園芸相談員として月6日から7日勤務しています。休日には地域の囲碁クラブで楽しんでいます。

大津定久(平塚) 名ばかりの会員ですみません。何とか頑張って生きています。

平川千恵子(横浜) 皆様にお会いできず、残念です。娘の出産予定日を控え、また孫の世話に追われている毎日です。『こだま会報』は楽しみに読ませていただいています。

小島信明(相模原) 要介護4の妻との生活で、総会に出席する時間がとれず、誠に申し訳ございません。

堤 正敏(横浜) 健康維持のため、毎日20分から30分歩くよう努力しています。

田中和子(秦野) 最近の気候も不順で地震も多く、日本国中、安全な場所はないと思える不安な毎日です。平穏な一日一日がとても貴重に感じるこのごろです。

二宮キク代(大和) 昭和62年退職の私と夫二人です。県職時代を折々思い出しています。現在は庭の

草木の手入れや、木々の刈り込みなどで、一日中遊ぶ暇などございませ

んが、温泉歩きをしています。健康でウォークができることを嬉しく思っています。友人、姉妹などの不幸の知らせには涙するばかりです。

大澤常雄(横浜) 頭の体操のため、ハングル(入門)の勉強を楽しんでいます。

鈴木定雄(厚木) 元気に過しています。まずはご報告まで。

榎本恵美子(二宮) おかげさまで私の病状は落ち着いていますが、横浜まで行くことはできません。傘寿を過ぎて体力は急に落ちてきました。身の回りのことと趣味のみに生きています。



神奈川県職労連退職者会の手づくり文化祭(2011年10月)

後藤貞夫(横浜) 昨年の「3・11」では帰宅困難となり、大地震などの自然災害の恐怖をとっても感じました。それ以上に原発への怒りが強くなり、福島・静岡・東京等で行われた集会等には、できる限り参加してきました。今後も安心して暮らせる世にするためにも、大いに参加していきたいと考えています。

中村みき(横浜) 膝の痛みが強

くて、膝の軟骨が磨り減ってしまった。年齢的に手術も不可能。ヒアルロンサンの注射も長いことしました。サメ軟膏の高価な薬も使いましたが、全部効果なし。現在は整形にてリハビリ、痛み止めの薬を使っています。何とか歩行しています。しかし月10日位は働いています。

石原健二(東京都目黒区) 『会報』を毎号楽しく読んでいます。緑内障の治療等、体調万全ではありませんが、週2回のへぼ基はボケ防止のため、続けています。

高橋トシエ(伊勢原) 早いもので、難病になり1年。介護1に認定され、家族や多くの人の支援でようやく家庭生活をしています。まだ庭の散歩程度で、外出は通院に行く程度です。急な発病で、幹事の皆さんにも大変ご迷惑をおかけいたしました。こだま会の発展の願いを、気持ちだけでも送ります。

船橋雅子(大磯) 私は5月1日につまずき、転びました。未だにクラクラしていて、一番良い季節をなにもせず、病院通いで過してしまいました。「来年のことを言うと鬼が笑う」といいますが、来年こそ皆様にお逢いできるようお願いいたします。

小島 工(東京都武蔵野市) 散歩、読書、パソコン操作で、元気に

過しています。

紺野 勇(藤沢) 私は現役で、毎日多忙な日々を送っています。高野 宏(厚木) 自治会、サークル活動など、忙しく過しております。

渡辺(鈴木) 恵理子(横浜) 皆さん、お元気ですか。県職労連(県職労)では大変お世話になりました。残念なことに総会には出席できませんが、またの機会にお会いしましょう。

金子信男(相模原) これからも「歴史講座」等の開催のりには参加したいと思っています。吉田綾子(逗子) 昨年6月から今年5月まで、団地管理組合の副理事を務めました。2000戸足らずなのに、身勝手な住民が、あれこれクレームをつけて、理事長は体重が減少する有様。つくづく人間の絆ってなあに? と考えさせられる日々でした。地域に生きるって難しいですね。できることをできるうちに自分のためです。

木村 昇(埼玉県久喜市) 年金支給額の明細書を見て、これからの年金生活をどう充実させていくか模索中です。

佐藤榮一(静岡県富士市) 体調維持のため、早朝トレーニングをしています。体調がよければ、北アルプス周辺でこの夏をすごしてみたい。

計良竹次(秦野) 退職から早い

もので5年が過ぎました。今はもっぱら家庭菜園を楽しんでいます。それにつけても原発の放射線汚染には腹立たしい限りです。人間の力でコントロールできないものを、将来に継ぐことは許されぬことです。『こだま会報』、毎号楽しみにしています。

片野憲二(小田原) 自治労連の仕事をしてながら原水協の活動もしています。3つのゼロをめざし(核兵器・原発・原子力空母)、とりくみを強めています。署名をよろしくお願ひします。当日は国民大集会に参加します。

戸塚 忠(静岡県三島市) おかげさまで首から下だけは丈夫にしておりますが、頭はまだらボケ。日ごろ書いている字が書けなくなったり、パソコンは思うように動かせず、後期高齢者になる前に末期の認知症になりそうです。金にならない仕事(?)をしなから、日々酒を呑んで暮らしています。

橋本マツ子(横浜) 梅見ハイキングに参加しました。晴れてよかったですけれど一分咲き。そのなかに一對の黄梅が見事に咲き、楽しませてくれました。白梅は少し早かった。

木村 稔(横浜) 医者通いの毎日ですが、何とか元気に頑張っています。

赤羽民夫(平塚) 退職してから

2カ月余り。月日が経つのは早いものです。いままでやっていかなかった家のことで時間がたつてしまっています。そろそろテニスでも始めようと思ひます。

小林滋樹(厚木) 先日、17年間私の相手をしてくれた愛犬がなくなり、朝夕の散歩もできなくなりまし。そのためか、少々元気がありません。近所の仲間とグラウンドゴルフをして、寂しさをまぎらわしています。

石田啓子(横浜) 週3日、細々と仕事を続けています。最近、新しい趣味をはじめました。1つは囲碁。九路盤で勉強中。2つは俳句。そのうち『こだま会報』に投稿できるといいなと思っています。3つ目はウクレレ。コードしか弾けません。運動系をやりたいところです。趣味ものんびり細々です。

湊 ふみ(横須賀) 腰痛があり、お伺いできません。『こだま会報』をいつも楽しく読ませていただいております。

渡辺雄之介(平塚) 昨年11月、ハーフマラソン大会で転倒し、肋骨を損傷し、完治するまで4カ月かかりました。これからはあまり無理せず、生涯現役ランナーをめざします。

山口 茂(秦野) 病院にもかかわらず、元気に過ごしております。

井坂房子(横須賀) いつも『会報』をありがとうございます。元気に地域活動をしています。こだま会の催しにも参加してみたいと思ひますが、なかなか時間がありません。

川村キサ(横浜) 週1・2回、老人向け体操などに参加し、ボケ防止に心掛けた生活を送っています。田辺恵子(相模原) 『会報』をいつも楽しく読んでいます。夏の「薬膳料理」は都合がつくかどうか思案中です。

塩原國雄(横浜)

前号の辻村さんの記事(会員紹介)、懐かしく読ませていただきました。お元気にいられて良かったですね。小生もおかげさまで元気に過ごしております。



早春の梅見ハイキング(2月18日)

石井 明(藤沢) 転倒して両膝を打撲し、自宅療養中です。皆さんのご健康をお祈り申し上げます。

平能芳子(横浜) 昨夏、ころんで左大腿骨の頸部を骨折し、杖を使用するようにになりました。

小澤加代子(相模原) 体重を気にかけながら、料理教室に通い、レパートリーを増やしています。

太田 顕(相模原) 2月24日、北相支部解散臨時大会の傍聴をしました。OBとしては淋しい限りです。当時の私の所属が、旧津久井郡相模湖町の関係で、毎年のメーデーは津久井地区労主催で、日曜日以外の平日は17時以降に行われ、「ちようちんデモ」と言われました。北相支部を代表して委員長や専従書記長が必ず参加してくれたことが忘れられません。公務災害闘争での指導、地域の相模湖ダム追悼会運動への支援、「指定管理者制度」への移行反対闘争等、歴代支部執行スタッフの方々に感謝し、お礼申し上げます。

行谷愛子(三浦) 「歴史教室」(散策)に楽しく参加させていただいています。

村崎亮一(横浜) 生活保護をもらうか、他人の物を奪うか、首をくぐるか、このような選択肢しかない人々が多数いる。このような現況を打破する知恵を出そうではありませんか。県庁OB職員の皆様!

田野倉一夫(相模原) よい歳になり、頭も身体も老化が進んでいます。達者なのは口先だけ。「確実な記憶は過去のことばかり」

細江恒秋(藤沢) 最近足腰が弱ってきましたが、何とかがんばっています。

加藤和子(相模原) いろいろな

企画がありますが、なかなか参加できません。津久井路も、「かたくりの里」や「かく堂桜」などがあります。たまにはお出かけください。

石田澄子(福島県郡山市) 今、

郡山の放射線の数値は0・6と下がってきました。何とか元気にくらしています。まだまだ不安です。

少しばかり野菜を作っていました。原発事故以来やめています。知的障害者のグループホームで働いています。まずはほけないう、若い子どもたちを相手にがんばっています。

小林泰夫(横浜) この歳まで続

けてきた趣味のテニスも、週1回のスクールでのハードな練習に、身体のあちこちが悲鳴を上げ始めています。「そろそろ引退しろ」と言っているのかもしれませんが。最近、子どもの頃親しんだハーモニカを吹いたり、コンサートに出かけたりしていますが、これもなかなか奥が深いものですね。

加藤房尾(海老名) 地区ターゲッ

ト・バード・ゴルフ同好会での活動及び、カラオケ仲間をつくり健康維持に努めています。

石田 昊(中井) ぼちぼちやっ

ています。近頃、もの忘れが激しくなりました。

吉澤靖夫(藤沢) 高齢者向け配

食サービスをはじめ6カ月経過。

年中無休のため、総会に参加できません。そのうち暇ができましたら参加します。今年で70歳になりますが、生涯現役をめざして頑張っております。

内堀 晃(藤沢) つつがなく過

ごしております。

川井弘次(厚木) 犬の「ゴール

デン」は30kg、14歳。ガンと肺炎のため、室内の温・湿度を安定するため、一日中電気を入れてあり、外出できない。私自身も1人暮らし。ここ数日、体調は不良です。

浅井照明(伊勢原) 誕生日を迎

え65歳になりました。すっかり老人風情の感がしています。しかし、気持ちだけは老いることなく、デイトレード、果樹栽培、アパート管理で、自宅、八ヶ岳の南麓、名古屋と3カ所を移動し、忙しく充実した日々を過ごしています。

宮澤恭子(茅ヶ崎) 「歴史散歩」

や「葉膳料理」など、興味深いのですが、木曜日が多く、仕事で埋まり残念です。機会があれば参加したいと思っています。

元木紀恵(静岡県熱海市) 早、

80ウン歳ともなると、一人歩きは禁じられており、なかなか外出もままなりません。どうぞ皆様には、この頃の天候不順のおり、お体にはくれぐれもお気をつけくださいますよう

お祈りしています。いついつまでもお元気に、そして健やかにと。

高橋精治(秦野) 民生委員、児

童委員として5年。通常の任務のほかに広報紙づくりで多忙な日々を送っています。

吉田龍子(横須賀) なんとなく

生活しています。『会報』は楽しみに読ませていただいています。

小山田洋志(秦野) 新東名建設

の関係で転居して3年。10階での生活にも慣れ、歳なりに元気ですが、ここ2年くらい膝の関節痛で通院しています。

若林康信(相模原) 足腰が弱っ

てきたので、遠出ができなくなりました。

小林節子(横浜) 『会報』を楽し

く読ませてもらっています。皆様の状況がよくわかり、嬉しいです。最近、月1回、スケッチをはじめました。水彩もいいですね。

小越信子(横浜) 原発、地震と

いやなことが続きます。60歳を過ぎたら、あちこち身体にがたがきています。人生を楽しみたいです。そのため、年金が減額になったら困りますよ。

塩沢徳夫(相模原) 近くの横山

公園に行き、朝6時30分からのNHKラジオ体操を続けております。

石川清子(東京都八王子市) 生

活保護は最後のセーフティネットであるなら、必要な人が洩れないようにすることが肝要です。またまた嫌なキャンペーンが張られています。現場のみなさん、頑張ってください。

松村美知子(大分県白出町) い

つも、情報をありがたうございます。何とか元気に過ごしております。

増村一夫(千葉県大網白里町)

『こだま会報』を感謝しながら読ませてもらっております。会員の皆様のお元気な活動など、内容も豊富で編集のすばらしさと担当者のご苦労に頭が下がります。私はまだボランテニアを兼ねた勤めをしています

が、朝、身体がしんどく、「今日は行けるか、駄目か」と自分に問いかける日々が続くこの頃です。

平野拓男(横須賀) 82歳、元気

でいます。昨年の大震災、大津波、原発事故など、天災・人災には心が痛みます。平穏無事な世の中が続くよう、祈ります。

奥津弘久(秦野) 昨年10月に秦

野精華園OB会がありました。総勢28人参加。なかには30年ぶりにお会いした方もあり、話がはずみました。この歳になると、いいなあ、再会って!

小山直次(相模原) 元気で毎日

農作業で過しています。また、地域のボランティア活動に参加していま

す。今年もまた、6月2日頃から相模原の道保川にホテルが飛び始めました。

宮崎 滋(横須賀) 昨年の夏、カナディアン・ロッキーの中心バンフに8泊して、美しい山と湖を観てきました。バンフは人口7千人、その10%が日本人なので、どこへ行っても日本語ですみました。それとバンフとその隣町キャンモアの治安の良さには驚きました。ガイドの人が言うには、家にカギをかけたことがない、車のカギをかけたことがない、車のカギを忘れなくても、中のカメラ等を盗まれたことがないとのことでした。

雨宮和雄(海老名) 昨年幹事を退任したのは、那須の山荘へ長期間行くためと言っていたのですが、想定外の出来事でいけなくなりました。福島原発事故の放射能汚染のためです。家の庭で0・3〜0・4畝シールベルト/h、部屋の中で0・1〜0・2畝シールベルト/h。除草もできず、楽しみにしていた自然のなかでのキノコ狩、栽培した椎茸・なめこ等、また山菜等食べられなくなりしました。東電が事前に指摘されていたことを実行していれば、こんなことにはなっていなかったと思わう。清水前社長は7千万円もの退職金を貰い、何の問題にもならなかつ

たことはなんだろうと思う。

鈴木公彦(横須賀) 年に一度の総会・懇親会が楽しみです。不景気の昨今、また消費税の増額とか、後期高齢者の医療制度はどうなる事やら心配です。

柘沢 覺(相模原) 私は神職多忙のなか、グラウンド・ゴルフにと過ごしています。

芝 忠(横浜) 毎週土曜日に大学へ行っていた仕事も終わり、こだま会総会にも参加可能になりました。12年間頑張ってきましたが、一息ついているところです。

榎本勝雄(藤沢) 相変わらず元気でスキーを楽しみに滑っております。まだまだ頑張つて滑ろうと思つています。

横山洋司(平塚) 平成24年3月退職しました。いろいろとお世話になりました。

中澤祥浩(横浜) 出無精となり、お付き合いをはじめ引き籠もりになり、趣味も遠くなりました。健康のためにもこだま会行事に参加したくなりました。

新倉仙太郎(三浦) 原子力発電がストップなので、今年の夏は電力不足と言うことで、クーラー・扇風機は使用せず、ウチワ・扇子で過しましよ。心頭を滅却すれば火も自ずから涼し」と言うことわざがあ

ります。天正10年、甲州恵林寺の僧快川国師は、織田氏の軍勢に囲まれて寺に火をつけられた時、この句を唱えながら火中に正座し、ひとつも動ぜずとある。皆様、暑さぐらいに負けられませんか。夏を乗り切りましよう。ガンバロー!!

鳥居千珠子(東京都大田区) 退職してやつと自由な時間がとれるかと思つたのもつかの間、この4月から次男一家が突然やつて来て同居しています。6歳(女の子)4歳(男の子)の孫の世話で身動きできなくなりしました。居住地の大田区では、今年度から中学生の歴史・公民の教科書が戦争美化の「育鵬社版」になり、「九条の会」でも、この問題で講演会を開催したりして重視しています。どこでも厳しく見張る必要があります。

齋藤孝治(横須賀) 60年間プレイした野球を引退して、少し時間に余裕ができました。1月に昨年暮れより外国の友人夫婦が20日間滞在し、箱根観光や東京に宿泊して、食事や買物などで楽しい正月を迎えました。2月は菜園の野菜の種まきや耕作、肥料入れ等多忙な日を過しました。3月は、米国のテキサス州サンアントニオの友人宅300坪の家に24日間滞在して、映画で有名なアラモ砦や広大な大西部、メキシカン

料理など連日楽しみました。4月は菜園の作業に追われ、5月は箱根に泊まりがけで出かけたり、無農薬野菜作りなど忙しいなかで楽しく過ごしています。

叶井進一(横浜) 年金暮らしも20年経ちました。誠に早いものです。畑仕事に楽しみを見付けました。毎日規則正しく、かつ「力耕我を欺かず」一力を込めて耕せば作物は必ず報いてくれます。無農薬、有機農業に自分、家族の健康を見出しました。暮らしにくい世の中になりましたが、負けないで長生きを心がけて頑張ります。こだま会の行事に参加するように都合つけますので、企画してください。

米山東伊(横須賀) 日よけにゴーヤを植えました。LED電球にしたりして、省電力に努めています。脱原発のためにがんばっています。

佐藤善治(横浜) 「歴史教室」は①歩く楽しみ(散策)②知る楽しみ(講義)を通じて③仲間づくり。知らないよりは知ったほうがいい。原点に帰って、こだま会員の皆と交流を図り、人生を楽しんでみませんか。積極的な参加をお待ちしております。中原保彦(島根県美郷町) 島根の山奥に帰って来て3年半が経過してきました。昨年6月には妻や子も引越してきて、94歳になった母の介護・

生活支援を「家族」力でできるようになりまし。東日本震災で、家族が離ればなれで暮らすことを余儀なくされた方数知れずというなかで、感慨深いものがあります。10アールの水田で初めて米作りに挑戦。地域の皆さんの指導・援助を受けながら悪戦苦闘しています。

山野澄子(海老名) 長い間、薬膳料理に参加させて頂いております。お料理は好きで一人暮らしでも、今のところ三度とも自分で作って健康に暮らしております。また、月一回、片道70kmの道志川まで山小屋にいき、楽しんでいきます。

小川達子(横浜) 主人が亡くなって3年も経ちますが、私は病院には年一回検診に行くのみとなりました。6人家族で幼い孫3人賑やかな毎日です。趣味の教室や、いろいろボランティア等で外出も多く、毎朝、夕方の犬の散歩も自分の運動としてかかさず続けて相変わらず元気です。

川田勝利(横浜) 『こだま会報』を毎号楽しみに読んでいます。元気をいただいています。

島田多嘉子(横浜) こだま会の俳句サークル・こだま句会で『合同句集こだま』第3集を発行しました。1冊300円でお分けしています。ご協力戴ければと思っています。よろしく願います。

小山武衛士(厚木) 『会報』を毎回楽しく読ませてもらっています。みなさんの元気に習って、今年も例年どおり世界エスペラント大会(ベトナム・ハノイ)に出かける予定です。来年はアイスランドですが、それまでは続けたいと思っています。

山本正子(逗子) 退職してから早くも14年目になります。毎年お知らせ頂きながら、総会にはなかなか出席できませんでしたが、今年はお席させて頂きます。楽しみに出掛けたいです。

阿部六郎(厚木) 半世紀弱の務めを終了し、フリーの身となりました。宮下 光(横浜) 『こだま会報』を楽しみに読ませて頂いています。「趣味の会」のとりくみや写真も多くて読みやすいです。

谷村 寛(海老名) 地域の会の役員等をして過しております。昨年、事務所訪問の時には役員の方にお手伝いいただきまして、大変ありがとうございました。

高木みどり(横浜) 総会は「合唱祭」の本番があつて欠席します。11月25日(日)の杉並公会堂でのパッハ「マタイ受難曲」の演奏に向けて練習しています。3時間を超える大曲で、パッハの一筋縄ではいかない「やんちゃ」な巧みさに合唱の面白さがいっぱいです。「危機において

もなお眠り続けるものたち」の詩に、はつとさせられ、メッセーじが伝わります。「聞いてよかった」といわれる演奏をめざします。こだま会のみなさまに聞いて頂けると、もっとさらに嬉しいです。

村松久代(厚木) 体調が良ければ、昔の仕事仲間との再会を期待して総会に出席したいのですが…。地の句会や手芸を楽しんでいます。介護保険の世話にならぬ様ストレッチやウォーキングに努めています。

入間川昭遠(横須賀) 体力が老化(歩行困難)しましたが、カラ元気を出して過ごしております。七宮 清(厚木) 歳相応に、ユニセフ・老人ホームなどでボランティアをしています。いろいろ学ぶことも多く、有意義な日々を過ごしています。

鳥居喜代(横須賀) 『こだま会報』を楽しみにしています。会員紹介のなかで、病気にもめげず前向きに生きていられる方の記事など、とても励みになります。

天羽忠子(寒川) 健康にと始めた趣味が多種で、いつもこだま会のイベントに参加できなくて残念に思っています。今年こそはと思っていました。今年こそはと思つて欠席させて頂きますが、元気に毎日を充実して楽しく過ごしています。

遠藤正子(綾瀬) 退職して20年になりました。地域外に出ることは少なくなりました。地域での交流は参加しています。

岸 一衛(町田) 前号の『会報』、きれいな写真ですね。「6月の円覚寺」―梅雨時の美しさ。「称名寺」―時代がちぢまる静けさ。「曾我梅林」―富士山が頂けるような梅林のなか。原田道雄(静岡県沼津市) 身体が不自由となつてしまい、外出が困難な状態です。

神山(こうやま) キミ子(大和) あたたいお便りに、当時をなつかしく思い浮かべております。95歳の老婆でございます。児童課で母子相談をさせて頂いております。

鴨志田ひて(茅ヶ崎) 今はもうかなりの歳ですので、遠い横浜まではかけられません。医者にかかってはいますが、元気です。

河野ちか子(横浜) おかげで何とか元気よく一日が過ぎますように、それなりに頑張っております。

伊東 久(秦野) 2011年度新加入会員35人は心強い。今後も加入推進にお力添えを。

鈴木志げ子(鎌倉) 右をむいても左を向いても、高齢者の多い時代に行くのに厳しい時代です。でも明るく希望をもって前向きに生きていき

たいと思っています。

角田周久(海老名) 「半田舎生活」も早や5年。妻はアルバイト仕事をしながら毎月1〜2回、週末実母の介護のため静岡へ。私は「半田舎生活」をしながら、転地療養中の兄の生活見守り中(群馬で)。退職5年も経過すると、周囲も生活もだんだん変わってきますね。こだま会にも時は足を向けようとは思っていますが、なかなか顔出しできないでいます。

高崎仁征(相模原) 自宅より30m程の所に畑を借り、農作業に連日励んでいます。

白井りつ子(横浜) みなさんお元気ですか。孫と沖繩へ行つて来ました。平和祈念館や基地などを回つて来ました。子どもの目にどのよう

に写ったか…。伝えることがたくさ

んあったように思いました。
明田剛一(横浜) TVや新聞を見ていると、怒りたくなることばかりですね。歳のせいでしょうか、自分が動けないからでしょうか。80歳台になれば、気分転換しないと駄目ですね。何もしないで体調に気がつかっています。『会報』を楽しく見せてもらっています。

降りた高校生等々、けっこう混んでいました。帰宅して2、3日して足腰に痛みあり。
清水敬一(横浜) 県の財政難で自治会館のOB利用ができなくなり、私が永年所属する県庁謡曲部も「けいこ場所」を失い、紅葉坂上の横浜能楽堂など幹事が会場確保に苦労しています。利用料がかかるため、会費も値上りし、さらに急坂登りで息が切れます。一向に上達しない趣味ながら、高年齢にもなりそろそろ幕引きを考えています。



「さようなら原発集会」で (7月16日)

手代木昭八(横須賀) いつも『こだま会報』を楽しみに読んでいます。趣味の水墨画も2・3年書いていないのです。昨今は、認知症の人の看病に頑張っている日々を過ごしている次第です。

河久保矩夫(横須賀) 大荒れの政界の今日、乱れに乱れた国会の議会に、役員の方がたには毎日お忙しいことと存じます。私も去月30日、数えの米寿を迎えました。体力の限界を感じています。週3回のゲートボールの練習に通っています。

木村武子(横浜) 去年の9月に老人ホームに引越しました。膝痛がこうじて、坂・階段の上り下りの苦痛に耐えかねての挙句でした。まだ、半年経ちませんが、体調はぐつと良くなりました。何よりも安心感が得られたのが一番の収穫です。茅ヶ崎公園の緑に恵まれる山の上にホームは建っています。部屋は個室ミニキッチン付き、朝昼は部屋で自炊し夕食は食堂で戴きます。いろいろ誘われて体操、ヨガ、川柳、マージャンなどやっています。内に籠ってばかりではいけないので、努めて外出を心掛けています。こだま会の役員、会報の編集やこだま句会もその一つです。

関心事は「日本国憲法」の改悪です。
上野多恵子・代理(横浜) 本人は現在有料老人ホームに入居してあります。残念ながら単独で外出できる状態ではございません。

横山善助(横浜) ひざ痛のため総会に出席できず残念です。皆さんとお会いできず悔しいです。元気がなくなってお会いできる日を楽しみに頑張っています。

体調を崩しておられる次の方々、お体のやわらぎますよう、願っています(敬称略)。
越水悦子(伊勢原)、大原 茂(大和)、大谷憲一(町田)、会川宮子(横浜)

おすすめの1冊

『僕が写した 愛しい水俣』

塩田武史著 岩波書店刊

2300円+税

- 水俣に原因不明の脳症状患者が発生、水俣病公害が公式確認(1963年)されてから半世紀経つ。
- 化学会社チツソが海に流した廃液で育った魚介類を食べて、含まれた有機水銀に侵されて慢性神経疾患や、胎児性疾患をも発現した水俣病。多くの死亡者がでた。
- 1967年、学生の著者は水俣を訪れ、胎児性水俣病患者の姿に大きなショックを受け、無我夢中で写真を撮り始めた。それは16年に及ぶ水俣住まいの始まりだった。
- 土地の人々とともに暮らすなかで撮られた写真は、ただ辛く悲惨な水俣病を写し取ったものでなく、さまざまな人たちの生の輝きに満ちている。古びることなく胸に迫る記録。

2012年4月に2刷。(木村武子)





浜岡原子力館で(6月9日)

子や孫に安全で ゆたかな水・土・ 空気を――

県職員九条の会が浜岡原子力館を見学

国内の稼働原発ゼロのなか、神奈川県職員九条の会は6月9日、静岡県浜岡原子力館を見学しました。参加者は、こだま会の加瀬文隆代表(県職員九条の会代表)を筆頭に9人。JR「掛川駅」に集合。「9・9で意味があるね」と話すのは宮澤恭子さん。

「掛川駅」から目的地まではレンタカー。ドライバーは県職労連の齋藤晋さん。楽しいドライブ? で浜岡原子力館に到着。自然がいっぱいの広大な敷地に、でんとした大きな建物。もちろん見学は無料です。

入口でパンフを手に入れ、発電の仕組みや実物大の原子炉、中央制御室、全体の展示などを見学。ボタンを押すと画面に映し出される説明文を理解? それぞれの解説にうなずき、そのうち、「そんなこと言っちゃって」「これはさ」「あれはさ」と、一つひとつ反論、正論が飛び交ったのは想像に難くありません。

運転を停めるための制御棒の展示・説明にはびっくり。間違った説明ではないけれど、「何か違うんだよな」「だってさ、福島を事故を忘れたの?」

全体の説明でも、安全対策はやらなければいけないのに、「やりますから安全です」と説明。安全対策は後回しで、何が安心してくださいますか(プンプン)。

それにしても、原発を推進するために、こんなにお金をかけて…。子どもが楽しみながら、自然と「原発はいい」と思えるようにするなんて許せない。家族連れもあり、子どもと遊べるスペースもあります。お茶やお水もあり、無批判で使うと、ちょっと心配になりました。



安全対策はどうなっているの?

いちいち反論する妖しい? 9人でした。原発マネーとしか思えない鳥居や建物にあきれ、やっぱり子や孫に残せる日本、地球をと決意。「できることを自分の場所で、言葉で、行動しよう」と気持ちを新たにしました。

(植木真理子)

がんばれ! 神奈川フィル分会

「杉本さん・布施木さんの解雇を撤回し、神奈川フィルを良くする会」結成

「演奏技術が著しく低く、演奏・練習中の態度が悪い」などの理由で解雇された杉本さんと布施木さん。「指揮者や同僚からそうした指摘を受けたことはない」と、現在、解雇撤回等を求め、横浜地裁で闘っています。

7月4日の解雇を撤回する会の結成総会には113人が参加するなど、支援の輪が広がっています。

お二人は7月17日、こだま会幹事会の席で支援を要請。幹事会で論議し、「会」への参加を決めました。できることで支援をしていきましょう。

(鳥海敏雄)



横浜市内で開かれた結成総会

予告!! 予告!! 予告!!

- 歴史教室(散策)(第54回)
 - テーマ 東京・文京区の史跡を訪ねる
 - とき 9月20日(木)9時集合
 - 集合 JR「横浜駅」中央改札口「緑の窓口」付近午前9時
 - 会費 500円(交通費・昼食代別)
 - 講師 中村猪一郎会員(予定)
 - 申込先 こだま会事務所045(212)3179または045(361)0112(佐藤喜治)
- 俳句サークル「こだま句会」
 - 月例会(毎月第2木曜日13時~)
 - 9月13日 10月11日
 - ところ 県庁本庁舎6階共用会議室
 - 指導 太田土男先生(俳人協会)
 - 会費 500円
 - 申込先 こだま会事務所045(212)3179または井村友彦0463(81)4493
- 囲碁同好会
 - 月例会(毎月第1日曜日12時から)
 - 場所 「囲碁サロン」JR藤沢駅南口そば
 - 申込先 こだま会事務所045(212)3179または青沼慶祐080(1266)5396
- 食文化を楽しむ会(薬膳料理)
 - とき 12月6日(木)
 - ところ 横浜市健康福祉センター調理実習室(JR桜木町駅前)
 - 講師 亀井禎子会員
 - 申込先 山本文子 03(3728)2227 亀井禎子 045(332)4601
- 小出川の散策(彼岸花ウォーク)
 - とき 9月29日(土)
 - 詳細 集合時間等詳細は同封のチラシ参照
- ありがとう「大平荘」
 - とき 11月29日(木)~30日(金)
 - ところ 箱根大平台「大平荘」
 - 内容:会費 同封のチラシ参照
 - 問合せ先 こだま会事務所045(212)3179

楽しい 趣味の会

趣味の会は、長生きの散歩道

一緒に歩きましょう!!

第53回 歴史教室 散策

東京「港区の文化財」―泉岳寺・増上寺・愛宕神社などを訪ねて

の菩提寺。二代將軍秀忠をはじめ6人の將軍の墓がある。

今回の歴史散策は6月14日、参加者は14人。東京のど真ん中にある緑豊かなお寺や神社など、高層ビルのなかのオアシス(史跡)を訪ねるのが目的だった。

経路

①泉岳寺(萬松山・曹洞宗)・・・存じ『忠臣蔵』で有名な播州赤穂城主・浅野家の菩提寺。仇討を果たした赤穂浪士四七義士の墓がある。義士の墓は静謐(せいひつ)で壮観だった。②増上寺(三縁山広度院・浄土宗大本山)・・・上野の寛永寺と並ぶ徳川家



▲泉岳寺にて



増上寺本堂と東京タワー

を騎馬で登降したことで有名。⑥NHK放送博物館・・・大正14年にラジオ放送が開始され、70年の歴史が展示されている。館内ガイドから2時間の説明を受ける。朝ドラ、大河ドラマなどの

展示がなつかしかった。

まとめ

増上寺や泉岳寺などは、緑豊かで静かな憩いの場であった。徳川幕府が寺社を庇護したことが、今日につながったと言えよう。忠臣蔵の舞台・泉岳寺は、日本人の人情の深さ(みなもと)である。私の血(日本人のDNA)が騒いだ。

終わりに拙句

新緑や義士の風吹く泉岳寺
タワー見る徳川廟に若葉かな
新緑の愛宕山抜くビルの群

扶助子(湯川 勉)

手づくり文化祭のご案内

―神奈川県自治労連退職者会主催―

絵画・写真・絵手紙・陶芸・俳句・短歌・出し物(合唱・フラダンス等々)、気軽にご応募を

とき:10月27日(土)
ところ:横浜市従会館(桜木町下車)
申込締切:10月16日(火)までに「こだま会」事務所へ(搬入も)
申込先:こだま会事務所 045(212)3179

「こだま俳壇」(7月)

- 沈む家の湖底にとどけ舟花火 小川 水草
- 洒落者の病の父の団扇かな 高橋 和江
- 鶯や安全神話藪の中 井村 友彦
- あじさいの色あざやかな空家かな 鈴木志げ子
- 花火待つ河口に汐の満ち来たる 田中 一男
- 土つきのらつきよう買ひて妻愉し 坂 守
- 復興を願う花火の空高く 横川美代子
- 心意気どんと伝わる揚花火 島田多嘉子
- 花火師の半被姿や空探る 木村 武子
- 献立のいよいよ手抜き土用入り 佐藤 安弘
- 馬鈴薯の花一面の富良野かな 鳥海 敏雄
- 丘陵の仕掛花火や桑畑 松本 正治
- 大花火咲かせてみたし七路路に 三井 光子
- アオサギの物干しの間見えかくれ 中村 桂子
- 薄衣の人闊歩する盛夏かな 白井保次郎
- 百歳の祝の花火揚りけり 太田 土男

食文化を楽しむ会

今回の「薬膳料理」は7月26日、桜木町にある横浜市健康福祉センターで開催。参加者は6人。「夏を乗り切る薬膳料理」に挑戦しました。初参加の伊藤美代子さんの感想をお届けします。

夏をのりきるのに良い献立

送られてくる『こだま会報』に、「薬膳料理」の案内を見るにつけ、いつか参加したいと思いつつ、何年たったことでしょうか。やっと思いがかなって、出席できる状況になりました。事務所に申込みをしたところ、「三角巾と割烹着、手拭いを持参してください」と男性の声。「私も参加します」と言われ、親しみを感じました。



できあがった料理に舌つづみ

昔から「医食同源」といわれ、料理研究家の辰巳芳子さんは、「命は食にある」といって、本も書いておられます。食の大事は充分わかっていきます。

この歳になって、いままら若い人に混じって料理教室にも行けない。料理番組を見ただけでは、なかなか作る気になれません。私の想いは募るばかりでした。それがこの度、かなったのです。

「先生と呼ばないで」と講師の亀井さんはおっしゃいますが、私にとってはありがたい先生なのです。今回は、夏を乗り切るのに良い献立でした。



「党参入り枝豆」「冬瓜と豆腐ソースかけ」「桃のゼリー」です。

私は図書館の先輩の木村さんと組んで、蒸し料理を作りました。上手にできました。できあがったの昼食会は、みなさん「美味しい、美味しい」とご満悦でした。

これからもがんばって、料理を作りたいと思っています。皆様、大変

絵手紙



奥津弘久さんの作品

お世話になりました。今後ともよろしくお願い致します。(伊藤美代子)

編集 後記

▼酷暑の夏。皆さんお元氣ですか。

▼酷暑続きで、田んぼのドジョウは土中に潜ったきり、動きも鈍い？

▼首相官邸を毎週金曜日にとりまく「脱原発デモ」は、酷暑のなか数万人にも膨れ上がっている。しかし、官邸のドジョウ宰相には、「原発なくせの声」は「音」としか聞こえないようだ。

▼消費税も原発もTPPも、いまや「声」と「音」とのせめぎあい。変わりなき「声」を、できる所であげていこう。(と)

会報No.97
2012. 8 .15

編集・発行 神奈川県職労連退職者こだま会
発行人 加瀬 文隆

〒231-8588 横浜市市中区日本大通り1
県庁本庁舎6階

TEL 045-212-3179 (代表)
FAX 045-212-3178 (代表)
URL http://kodamakai.sakura.ne.jp/